

施策番号	1234		
施策名	精神保健・医療・福祉サービスを支える体制の整備		
概要	市民のこころの健康の保持増進を図るとともに、精神障害の予防や治療、精神保健福祉体制を整備する。		
担当局	保健福祉局	共管局	なし
上位政策	123 心身ともに健やかにくらす		

施策の評価

1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1 居宅介護の延べ利用時間数（時間）	a	a	1,034,026.5	1207492.0	1,034,026.5	116.8%	a	
2 精神科救急医療システム相談件数（件）	a	a	2,528	2,850	1,981	143.9%	a	
3 地域精神保健福祉活動の活動件数（件）	d	e	35,869	31,701	40,718	77.9%	e	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
7 -	-	-	-	-	-	-	-	
8 -	-	-	-	-	-	-	-	
9 -	-	-	-	-	-	-	-	
10 -	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b

2 市民生活実感評価

設問	精神に障害のある人への保健、医療、福祉サービスが充実している。					
回答	18		19		20	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	23	5.0%	18	4.2%	26	4.1%
b: どちらかというと思う	64	13.8%	52	12.2%	89	14.0%
c: どちらとも言えない	197	42.5%	196	46.0%	312	49.0%
d: どちらかというと思わない	117	25.3%	106	24.9%	126	19.8%
e: そう思わない	62	13.4%	54	12.7%	84	13.2%
有効回答数	463		426		637	
市民生活実感評価	C		C		C	



* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	b	b	b
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	B	B	B
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	この施策は対象となる市民が限定されていることから、実績が市民の生活実感に反映されにくいことを勘案し、客観指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

<p>客観指標総合評価、市民生活実感評価ともに昨年度と同評価となったことから、総合評価についても昨年度と同様B評価となった。</p> <p>精神科救急医療システム相談件数については、昨年に引き続き目標値を達成しているが、地域精神保健福祉活動の活動件数については、2年連続で活動件数が減少している。この要因としては、地域において、地域生活支援センター等相談支援を行う関係機関が増加してきたことで、従来保健所が関わっていた対象者が他の関係機関でも支援を受けられるようになったことが考えられる。今後、他の関係機関の利用状況も含め、利用件数の増減がどのような影響を与えているのか等、さらに分析していく必要がある。</p>
--

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	精神科救急医療システム	116,828	123,459	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
2	地域精神保健福祉対策	449,826	449,832	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
3	精神病院実地指導・実地審査	12,254	12,254	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
4	こころの健康増進センター管理運営 〔センター事業〕	52,631	52,346	現状のまま継続	保健福祉局こころの健康増進センター
5	こころの健康増進センター管理運営 〔デイ・ケア事業〕	58,925	58,009	現状のまま継続	保健福祉局こころの健康増進センター
6	自立支援医療費（精神通院）〔事務部分〕	121,395	121,393	現状のまま継続	保健福祉局こころの健康増進センター
7	精神医療対策	84,054	73,995	効率化等による見直し	保健福祉局こころの健康増進センター
8	京都市精神医療審査会	49,562	49,562	現状のまま継続	保健福祉局こころの健康増進センター
9					
10					
	合計	945,475	940,850		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	945,475 (0)	940,850 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1234	精神保健・医療・福祉サービスを支える体制の整備
-----	------	-------------------------

指標名	居宅介護の延べ利用時間数（時間）	
-----	------------------	--

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

身体障害者、知的障害者、精神障害者及び児童の居宅支援のうち、居宅介護等の利用時間数の合計

2 指標の意味

障害のあるひとの在宅での生活を支えるサービスの利用量を示す指標

3 算出方法・出典等

居宅介護に係る支援費支給時間数の合計（17年度まで、身体、知的、児童）居宅介護等に係る利用時間数の合計（18年度から、精神含む。）
出典：障害者支援費利用月別統計表（介護給付）、地域生活支援事業国庫補助金実績報告（移動支援）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	1,034,026.5	1,207,492	173,465.5時間減	1,034,026.5	過去3年間の最高値	116.8%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	障害者自立支援法の施行に伴い、居宅介護は3障害一本化された。
----	--------------------------------

5 評価基準

最新の数値が
a：過去3年間の最高値以上
b：過去3年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去3年間の上中間と平均値の間
d：過去3年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：過去3年間の下中間以下

6 基準説明

利用時間数は年度によりある程度変動することがあることから、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去3年間の数値をもとに基準を設定した。
⑱ 1,034,026.5時間（最高値）
⑲ 1,000,235時間
⑳ 820,301時間（最低値）
平均値 951,521.5時間

7 評価結果

18	19	20
a	a	a

指標名	精神科救急医療システム相談件数（件）	
-----	--------------------	--

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

緊急に精神科の医療の提供を求めるひとの救急受診の相談等を受けた年間件数

2 指標の意味

緊急に精神科の医療の提供を求めるひとに対する支援の量を示す指標

3 算出方法・出典等

精神科救急情報センターにおける相談件数の集計値

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	2,528	2,850	322件増	1,981	過去5年間の最高値	143.9%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

最新の数値が
a：過去5年間の最高値以上
b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去5年間の上中間と平均値の間
d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明

利用件数は年度によりある程度変動することがあることから、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値をもとに基準を設定した。
最高値1,981件（平成17年度）
平均値1,539件
最低値1,067件（平成14年度）

7 評価結果

18	19	20
a	a	a

施策名	1234	精神保健・医療・福祉サービスを支える体制の整備
-----	------	-------------------------

指標名	地域精神保健福祉活動の活動件数（件）
-----	--------------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
 地域精神保健福祉活動における精神保健福祉相談，訪問指導，社会復帰相談指導の年間活動件数

2 指標の意味
 精神保健福祉に関する相談や社会復帰を促す活動の場を求めるひとに対する支援の量を示す指標

3 算出方法・出典等
 各保健所・支所における精神保健福祉相談，訪問指導，社会復帰相談指導件数の集計値

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	35,869	31,701	4,168件減	40,718	過去5年間の最高値	77.9%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

5 評価基準
 最新の数値が
 a：過去5年間の最高値以上
 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
 c：過去5年間の上中間と平均値の間
 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
 e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明
 利用件数は年度によりある程度変動することがあることから，一定安定的な数字と比較する必要があるため，過去5年間の数値をもとに基準を設定した。
 最高値40,718件（平成16年度）
 平均値38,096件
 最低値36,450件（平成15年度）

7 評価結果

18	19	20
d	e	e